

ガス安全作業点検表

点検日 平成 年 月 日 社名 _____ 点検者 _____ (印)

I 使用開始時

| | | | |
|------|-------------------------------------|---|---|
| 1-1 | 作業場所に消火器を設置しているか。(B-10以上) | 良 | 否 |
| 1-2 | アセチレン調整器に逆火防止器を取付けているか。(1吹管に1台以上) | 良 | 否 |
| 1-3 | ホースに亀裂、ひび割れ等損傷している所は無いか。 | 良 | 否 |
| 1-4 | ホースの接続部はホースバンドで締め付けているか。 | 良 | 否 |
| 1-5 | 吹管のガスバルブは正常に作動しているか。 | 良 | 否 |
| 1-6 | 吹管の火口がつぶれたり、目詰まりを起していないか。 | 良 | 否 |
| 1-7 | 調整器の圧力計に破損、異常が無いか。 | 良 | 否 |
| 1-8 | 酸素ポンベのバルブ、調整器の足ネジ部に油脂や可燃物が付着していないか。 | 良 | 否 |
| 1-9 | 容器バルブに開閉ハンドルが常時取付けられているか。 | 良 | 否 |
| 1-10 | アセチレン容器は立てた状態で、転倒防止措置が取られているか。 | 良 | 否 |
| 1-11 | 酸素容器を横置きしている場合、歯止めをしているか。 | 良 | 否 |
| 1-12 | 酸素容器を立てて使用している場合、転倒防止措置が取られているか。 | 良 | 否 |
| 1-13 | 作業者は労働安全衛生法におけるガス溶接技能講習修了者であるか。 | 良 | 否 |
| 1-14 | 容器を車両に乗せた状態で溶接溶断作業をしていないか。 | 良 | 否 |

II 作業状況

| | | | |
|-----|--|---|---|
| 2-1 | バルブは静かに、確実に開閉しているか。 | 良 | 否 |
| 2-2 | 石鹼水等で調整器、吹管取り付け部、ホース接続部等の漏れ検査を実施したか。 | 良 | 否 |
| 2-3 | 温度40度以下の通風のよい場所で作業を行なっているか。 | 良 | 否 |
| 2-4 | 使用場所から5m以内で喫煙、火気の使用を禁じ、引火性、発火性の物が無いか。 | 良 | 否 |
| 2-5 | 吹管への点火は、酸素を止めた状態で行なっているか。 | 良 | 否 |
| 2-6 | 吹管の消火は、酸素を止めてからアセチレンを止めているか。 | 良 | 否 |
| 2-7 | 火花の飛来する恐れのある場所に容器を置かない。また、防災シート等で火花の飛来防止措置を講じているか。 | 良 | 否 |

III 使用終了時

| | | | |
|-----|-------------------------------------|---|---|
| 3-1 | バルブを閉じ、容器の転倒及びバルブの損傷を防止する措置を講じているか。 | 良 | 否 |
| 3-2 | ホース内の残ガスは必ず放出しているか。 | 良 | 否 |
| 3-3 | 車両にポンベを乗せた状態で容器を保管していないか。 | 良 | 否 |

IV 車両による移動運搬時

| | | | |
|-----|---|---|---|
| 4-1 | 容器の車両からの転倒転落防止のための固定を施しているか。 | 良 | 否 |
| 4-2 | 車両の前後の見やすい所に『高圧ガス』の表示を掲げているか。 | 良 | 否 |
| 4-3 | 酸素と可燃性ガスを積載するときは『緊急防災工具』を常備しているか。また、必要な資材に不足や不備が無いか。(灯火類の電池切れ等) | 良 | 否 |
| 4-4 | 酸素と可燃性ガスを積載するときは『自動車用消火器』を常備しているか。 | 良 | 否 |
| 4-5 | 酸素と可燃性ガスを積載するときは『イエローカード』を常備しているか。 | 良 | 否 |
| 4-6 | 積載した車両の後ろバンパーと容器が30センチ以上となるよう固定されているか。 | 良 | 否 |
| 4-7 | 容器の温度は40度以下に保つこと。 | 良 | 否 |
| 4-8 | 酸素と可燃性ガスの容器バルブが相互に向き合わないよう積載しているか。 | 良 | 否 |

| | |
|----|--|
| 備考 | |
|----|--|